

夏海湖の四季

～大洗研究開発センターだより～

第73号

平成27年3月発行

発行所 日本原子力研究開発機構
大洗研究開発センター
☎029-267-4141 (代)



▲構内にも春の訪れを感じる花が咲き始めました

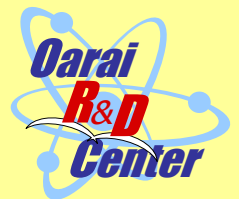
大洗研究開発センター所長挨拶

冬の寒さが峠を越えて、桜の蕾がほころびるこの時期は、春の花が一齐に咲き始め、誰しも心がうきうきするものです。学校を卒業された皆さんが、進学や就職で、それぞれ新たな門出を迎える時期でもあります。例年のこととはいえ、真新しい式服やスーツを着た多くの若い皆さんのフレッシュな姿は春の風物の一部のようにも感じられます。

原子力機構にとっても、年度の切替りは大きな節目の時期ではありますが、今年はさらに重要な変化の時でもあります。当機構は独立行政法人という組織ですが、4月から法人名称が「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構」に変わります。また、国が示した目標に対して私たちが約束する事業の計画は、これまでの5年計画から今後は7年計画となり、新たなスタートを切ります。多くの事業はこれまでどおり継続していきますが、より長期的視野からしっかりと研究開発成果をあげることが期待されることとなります。

さて、早いもので東日本大震災から丸4年が経ちました。残念ながら、日本の新型原子炉開発の中心的拠点、大洗研究開発センターの重要な研究基盤である試験研究炉は震災以来止まったままです。私たちは、引き続き研究炉の一日も早い再稼働を目指して取り組んでいきます。平成27年度は法人と

しても新たな門出、大洗研究開発センターとしても研究基盤の再生の年度と位置づけ、全ての従業員が力を合わせて前進してまいります。もとより、「安全最優先」を大前提として真摯に業務に取り組みますので、地域の方々を始めとする皆さまのご理解とご指導をよろしくお願いいたします。



大洗町立小中学生の施設見学会を実施しました。

大洗町では小中学校の学校教育における原子力教育の推進事業の一つとして、毎年「原子力施設見学会」を実施しています。

今年度も小学5年生及び中学2年生約320名が、平成27年1月～2月に7回に分けて、大洗研究開発センターを訪れました。

◎小学生には、電気や発電所の紙芝居のほか、防災車両や空気呼吸器等の着装、「常陽」や材料試験炉（JMTR）の運転訓練用シミュレータ、照射試験施設におけるコンピュータ等を体験してもらいました。

◎中学生には、大洗研究開発センターの概況説明、「放射線の特徴と身の回りの放射線」についてお話したのち、実際に測定器を用いて放射線の測定体験をしてもらいました。また、JMTRや高温工学試験研究炉（HTTR）等の施設見学を実施しました。

参加した児童・生徒からは、「楽しかった」「勉強になった」「将来ここで働きたい」などうれしい感想も聞くことができました。



▲概況説明を聞く中学生



▲消防服の装着体験



▲放射線の測定体験

広報チーム「シュガーズ」の出張授業を実施しました。

◎平成27年2月3日 大洗町立夏海小学校

学校行事として行われた原子力災害を想定した避難訓練にあわせて、全校生徒約70名を対象に、放射線の特徴や種類・原子力災害時の避難方法と注意点などの講話を行いました。また身の回りの放射線を知ってもらうことを目的に放射線測定を体験してもらいました。

◎平成27年2月27日 小美玉市立玉里北小学校

5年生及び6年生とその保護者約90名を対象に東日本から4年が経過し、改めて災害に対する正しい知識と身の守り方を知り、防災意識を高めてもらうため、「放射線と原子力防災」を中心に、自然災害時の防災にも触れながらお話ししました。

「シュガーズ」では、今後も小中学校等からのニーズに応え、出張授業などを通じて、地域の皆さまに正しい放射線の知識や原子力への関心を持ってもらえるような理解促進活動に努めてまいります。



▲講話の様子



▲放射線測定体験



▲質問に答える様子

原子炉施設の状況（平成26年12月～平成27年2月）

材料試験炉(JMTR)

NEW JMTR



第35回施設定期検査中（H18.9.1～）

(1) JMTRの運転管理等

・原子力規制庁による大洗北地区における平成26年度第4四半期保安検査（2/2-2/13）を受検しました。初日の2月2日には原子力規制委員会・石渡委員に昨年9月11日に発生した「第3排水系貯槽(Ⅱ)建屋内での放射性物質漏えい」現場をご視察いただき、今後の原因究明やその調査状況、安全対策、再発防止策等について理解を深めていただきました。

(2) その他

・つくば国際戦略総合特区（核医学検査薬の国産化）事業に関し、国からの補助金によって、JMTRホットラボの設備整備を進めています（～3/31）。



高速実験炉「常陽」

第15回施設定期検査中（H19.5.15～）

(1) 施設の維持・管理

・主冷却器の点検、コンクリート遮蔽体冷却系窒素ガス冷却器の点検、放射線管理用モニタの定期点検、2次冷却系プロセス計器の点検、主排気筒塗装作業、燃料取扱設備電気設備点検、廃ガス処理系弁類点検、1次冷却系プロセス計器更新、第1SFF水冷却池水循環ポンプ分解点検等を実施しました。

(2) 燃料交換機能の復旧に向けた作業の進捗

・昨年5月22日から作業を開始した復旧作業は、9月26日に計測線付実験装置を回収し、11月21日に新炉心上部機構を装荷しました。現在は、復旧作業に伴って取り外した回転プラグ搭載機器の再設置等を進めています。



高温工学試験研究炉

HTTR High Temperature engineering Test Reactor

第5回施設定期検査中（H23.2.1～）

(1) 施設定期検査作業状況

・非常用放送設備、制御棒交換機、換気空調設備、燃料交換機、特殊扉、原子炉格納容器エアロック等の点検を実施しました。また、非常用空気浄化設備、非常用電源設備、放射線管理設備等の施設定期検査を受検しました。

・解析コードの検証のためのデータを取得するため、核熱供給試験（コールド）を実施しました。

(2) その他

・11月26日に行ったHTTR原子炉施設の新規制基準に係る適合性の審査の申請について、原子力規制庁と審査ヒアリング12回、審査会合（公開）4回実施しました。引き続き審査対応を進め、早期再稼働を目指します。

お知らせ

平成27年4月から法人名称が変更になります。

日本原子力研究開発機構は、「独立行政法人通則法」の改正により、平成27年4月から、我が国の科学技術水準の向上を通じた国民経済の発展等に資することを目的とする「国立研究開発法人」となります。これに伴い、法人名称が変わります。また、本部の移転により、主たる事務所の所在地が変更になります。

(旧) 独立行政法人日本原子力研究開発機構

(新) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

主たる事務所の所在地 : 茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1

大洗わくわく科学館からのお知らせ

～ 平成27年3・4・5月のイベントのご案内 ～

企画イベント

科学技術週間イベント

平成27年4月15日(水)～4月19日(日)

第56回 科学技術映像祭入選作品上映会

11:00～11:50 (約50分)
NHK 23300 人体 ミクロの大冒険
～新発見を創る! 細胞のスーパーパワー～

14:00～15:35 (約95分)
内閣府 鳥の道を越えて

4/19 一日館長!
大洗町内の小学生から1名
一日館長として科学館の様々なお仕事を体験!!

かんたん工作
13:30～15:00
4/18 @「PPトコボを作ろう!」
4/19 @「スルスルクワイマーを作ろう!」

特別イベント

こどもの日 わくわくフェスタ

2015.5/2～5/6

5/2(土)
★風船ロケットを作ろう!
★紅色・糸ぶんぶんを作ろう!
5/3(日)
★スライムを作ろう!
★不思議ゴマを作ろう!
5/4(月)
★キーホルダーを作ろう!
★紙皿F10を作ろう!
5/5(火)
★こいのぼり風! パワーアップ!
★折り紙カートを作ろう!
★紙コップかざぐるま
★スーパーボールすくい
5/6(水)
★おひさまキーホルダー

3/6～4/30は
巡回パネル展
「オーロラ」
も開催しているよ。

土日祝日は、小さな
お子様から参加できる
「かんたん工作」も開
催しているよ。

もんちゃん

平成27年度もイベント満載で皆さまのお越しをお待ちしております。詳細はホームページ等で確認してね!

	大人 (高校生含む)	小中学生
一般入館料	200円	100円
団体入館料	180円	90円
パスポート	600円	300円



サマニー



わくみちゃん

〒311-1305 茨城県東茨城郡大洗町港中央12番地
TEL 029-267-8989
<http://www.jaea.go.jp/09/wakuwaku/>

